JCI-TC131A 性能設計対応型ポーラスコンクリートの施工標準と品質保証体制 の確立研究委員会

第7回 委員会 議事録(案)

■日 時 : 2014年9月18日(木) 13:00~18:00

■場 所 : (公社)日本コンクリート工学会 第5会議室

(東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 11F)

■資料: 7-0 第7回委員会議事次第

7-1 第6回委員会 (2014.6.18) 議事録 (案)

7-2-1 共通実験案(平岩幹事)

7-2-2 最終報告書「課題」まとめ(三島幹事)

7-2-3 室内試験方法に関する検討(空隙率試験および透水試験他)(三島幹事)

7-2-4 室内試験方法に関する検討(各種強度試験)(齋藤委員)

7-2-5 品質管理および維持管理WG資料(石田委員)

7-2-6 生コンポーラス品質管理試験に関する検討(伊藤委員、十文字通信委員)

7-3-1 中間報告会資料「都市高速トンネルにおけるポーラスコンクリート舗装の適用 (高田委員)」より(梶尾幹事)

7-3-2 4.2.4 路面騒音低減性能(加形委員)

7-4 ポーラスコンクリートの性能設計(國枝幹事)

7-5 ポーラスコンクリート製品の現状と課題の整理(國枝幹事)

7-6 元近畿大学教授 玉井元治先生―ポーラスコンクリートの多機能化―(三島幹事)

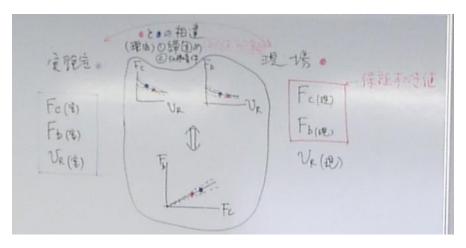
7-7 ACI 522R-10Report on Pervious Concrete

■出席者:畑中、岡本、梶尾、國枝、平岩、三島、浅野、石川、伊藤、加形、片平、木村、齋藤、杦本、 鶴田、成田、麓、柳橋、高田 以上19名

■記録:三島

■議 事:

- 1. 共通実験(案)について(平岩幹事)
- ・共通実験の概要および供試体採取方法に関して、資料に基づき説明があった。
- ・事前に集まって細かな試験方法の確認を行った方がよいのでは?
- ・配合設計通りのものをできているか、均質性は確保できているか、
- ・製造・施工標準の作成に当たっては、仕様規定的な均質なポーラスコンクリートの製造過程を対象とせざるを得ない。
- ・下図の各データの関係が規定されるかどうかで管理方法が変わってくる。



- ・上記の関係に乗ってこない条件などは明示が必要であろう。(厚板などで2層に打ち分ける場合など)
- 2. その他
- ・豪雨対策についての議論も進めるべき(玉井先生)
- ・結合材に添加するポリマー (アクリル系?) などのも盛り込むべき (玉井先生)

<各WG活動>

- 1. WG活動 13:00~16:00
- ・以下の3つのWGに分かれて審議された。
- 1.1 性能設計 WG (國枝 WG リーダ)
- 1.2 製造・施工標準 WG (岡本 WG リーダ)
- 1.3 品質保証 WG (三島 WG リーダ)

<本委員会>

- 4. WG活動報告
- 4.1 性能設計 WG (國枝 WG リーダ)
- ・資料 No.7-4 に基づき説明がった。
- ・要求レベル (ランク: A, B, C) の対応表などは今後検討を進める。
- ・今回は舗装の例を提示、今後、緑化基盤等の作成を進める。
- ・性能照査に必要な試験方法について対応できるか>>必要なものについては対応予定(品質保証WG)
- 4.2 製造・施工標準 WG (岡本 WG リーダ)
- ・重要な部分に一口メモを付ける。
- ・資料 7-3-1 に基づき説明があった。
- ・「舗装、護岸、製品、吹付け」のカテゴリでマニュアル的な資料(施工標準)の作成を進める。
- ・原稿締め切りを10月31日に予定。
- ・前回委員会報告書の内容を膨らませる。
- ・護岸か法面か?法面は吹付けとなる?
- ・性能設計の内容とも調整して進める。
- ・報告書フォーマットを前委員に送付予定。

- ・標準仕様書に載せられるように検討を進める。
- 4.3 品質保証 WG (三島 WG リーダ)
- ・生コンポーラスの品質管理試験(伊藤、十文字):試験方法に関する調査段階。生コンの品質管理に不可欠と考えられる試験方法(強度管理試験体の作成方法、ワーカビリティー評価試験方法)に絞って、 基準案の作成を進める。既存の方法を参考にする。
- ・耐久性試験方法(成田、石田):水流下でのすり減り試験(ASTM C 1138-97)の紹介。その他、耐久性試験の課題抽出。重要度の高いものを選択的に規準案の作成を進める。
- ・圧縮、曲げ強度試験(齋藤):曲げ強度試験方法はポーラス独自の内容が多いので規準案の作成を進める。粒径と供試体サイズの影響など。圧縮強度については、キャッピングおよび h/d の注釈が必要であるが、全体的には普通コンクリートの JIS で対応可。壁効果の影響の記述を加える。
- ・空隙率および透水試験 (三島):空隙率および透水係数の定義の問題点について、どのように次の報告書に反映させるか。→時間切れのためメール審議。
- ・共通試験(平岩): データ数が問題。参加を乞う。使用材料は問わない。公開試験を見せるか?締固め や養生を見せるか?→統一の必要なし。共通実験の予定を委員に知らせて、希望者は見学可とする。 現状の参加予定者: 名城大、三重大、太平洋セメント、鶴田(一部)、
- ・三重県(大台町)で吹き付けの予定。公開および供試体採取可。
- ・現場のコア採取だけでも可(設計値との比較でも可)。
- 5. その他連絡事項
- ・今後のスケジュールの確認

第8回 2014/12/19(金)WG13:00~16:00、全体委員会16:00~18:00 終了後忘年会

第9回 2015/3/10 (火) WG13:00~16:00, 全体委員会 16:00~18:00

最終報告会 2015/6/19(金) or 26(金) のいずれか。場所は東京。

(JCI 年次大会 7/12~16@幕張)